

第四回定例会



個人情報漏えいに関する 市長発言への質疑

今議会の冒頭に個人情報漏洩について市長が陳謝し、8会派が質疑をおこなった。この問題には、個人情報保護、情報公開請求など、市民の基本的な人権にかかわる複数の要素が絡んでいる。質疑では多くの会派が第三者機関による徹底調査を求めるなど、厳しい発言が相次いだ。

<生活者ネットワークの質疑より>

情報公開請求に対応し、公開資料を用意するのは市職員の職務であり、請求書を外部機関に送る必要はない。迅速に対応しようとした結果だとの答弁もあったが、専門家からは、仮に個人情報が黒塗りされていても請求書の外部送付は法的合理性がないとの指摘を受けているという。それを受け、市長からは不適切な対応だったとの認識が示された。

請求者に対して市が開示した資料では、事業者の個人情報には黒塗りがされていたという。個人情報保護への職員の意識の希薄さや組織のチェック機能の甘さが原因との説明は説得力に欠けると指摘したが、現在、黒塗りの事実を確認中との答弁にとどまった。また、市からくり返し不要な個人情報の提供を受けた3事業者からは、一度も指摘がなかったことが分かった。これは非常に不自然であり、意図的な漏えいが疑われる。真摯な対応での早急な真相究明による市民の信頼回復を望む。



2020年度一般会計補正予算 第5号に賛成

子育て世帯臨時特別給付金給付事業費 15億円余

○給付額: 児童一人あたり5万円

○対象: 2003年4月2日～2022年3月31日生まれの児童

・0～15歳(児童手当受給世帯)自動的に振込(収入制限あり)

・16～18歳は申請が必要

※その後、市は残り5万円の現金給付を決定。年内に支給するため、一般会計補正予算第7号として子育て世帯臨時特別給付金(追加分)14億9000万円余を専決処分。



一般会計補正予算第6号に賛成

主な内容

①新型コロナワクチン接種費(3回目分)増額

3億7100万円余

②調布っ子応援プロジェクト第4弾

2億4600万円

(内容)

子育て応援券(1枚500円)の配布

○児童育成手当・生活保護(～18歳)・

就学援助対象の子ども …2万円

○ふたり親の非課税世帯・子育て世帯特別給付金
受給世帯の子ども …2万円

○上記以外の子ども…5千円 3月上旬発送予定

③子ども食堂への支援費

420万円余

④あくろす・八ヶ岳少年自然の家への指定管理料増額
1000万円余

⑤市庁舎・たづくりの非常用電源設備工事

5800万円余

⑥CAPS・保育園の空調改修工事など

1億2200万円余

⑦追加財政需要などへの対応

7億9700万円余

障がい者福祉サービス・生活保護・公遊園樹木管理・
教員用タブレット端末整備・市民農園整備工事・保
育士派遣委託料など

◆条例

調布市議会議員の議員報酬及び費用弁償に 関する条例の一部を改正する条例に賛成

期末手当0.1月分引き下げ

調布市立保育園条例の一部を改正する条例 に賛成

公設民営のみまわり保育園を公私連携型に移行する。これまでとは違い、一般法人ベネッセへの土地・建物の無償貸付を伴う。協定に基づく運営や保育の質の確保について、市の監視状況を注視していく。

◆文教委員会

調布市市民農園条例の一部を 改正する条例を審査・賛成



上石原市民農園・下石原第2市民農園・若葉町市農園を新設。市内の市民農園は計14園に。生産緑地の活用としては初めての例となる。上石原市民農園を市内4園めの学童農園(第三小学校)として活用を検討する。食育や緑の環境保全、都市農地の活用にも有効な取り組みと評価した。

◆陳情



調布市における「個人情報漏えい」の 徹底説明を求める陳情

陳情は、客観性が十分に担保された第三者機関による調査を求める内容。調査が進まない中、「職員の個人情報保護への意識の希薄さが原因」「当初から組織として意図をもって対処しようとしたことはない」との市長の答弁がかえって市民の疑念を強めている。加害者である市が設置した情報公開審査会や個人情報保護審査会の審査では市民は納得できない。陳情者の訴えは妥当と判断し採択を求めたが、多数で趣旨採択となった。